

## 1. 内政

- ・大統領プレスサービスは、30日、ティモフティ大統領が胆のう炎により28日から入院しているため、1日に予定されていたバセスク・ルーマニア大統領のモルドバ訪問が延期された旨、31日、同大統領が同日手術を受けた旨発表。
- ・31日、議会調査委員会は、前検事総長の傷害致死事件への関与の疑いに関する捜査の一環として、フィラト首相、ルプ議会議長及びプラホドニユク議会第一副議長の事情聴取を行うことを決定。

## 2. 経済

- ▼金融・財政
- ・30日、国家統計局は、2012年に国家債務が9%増加して、12億4,600万米ドルとなった旨報告。
- ・30日、政府は、モルドバへのIMFミッションの訪問が2月27日～3月7日に延期となった旨発表(以前の発表では2月5日に訪問予定)。

## 3. 外政

- ▼レアンカ副首相兼外務・欧州統合相のフランス訪問
- ・1日、フランスを訪問したレアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、ファビウス外相と会談し、両国関係、沿ドニエストル問題及びモルドバの欧州統合等に関し協議。ファビウス外相

は、モルドバの改革実施状況を歓迎するとし、フランスはモルドバの欧州統合路線を支持する旨表明。

## ▼その他

- ・1日、フィラト首相は、バローゾ欧州委員会委員長と電話会談し、モルドバの欧州統合及び国家再統合問題等に関し協議。同首相は、3月にEUとの連合協定交渉を終了し、11月の同協定署名を目指したい旨発言。

## 4. 沿ドニエストル

- ・29日、カルポフ国家再統合問題担当副首相は、キシナウのウクライナ大使館においてシュタンスキ「外相」と沿ドニエストル紛争解決に関する2013年第1回目の実務協議を実施し、人の移動の自由、信頼醸成に関する作業部会の活動、2月のレビューにおける「5+2」者交渉の準備状況及び同交渉へのフィラト首相及びシェフチューク「大統領」参加の可能性等に関し意見交換。
- ・1日、沿ドニエストル合同管理委員会のウクライナ代表は、OSCE軍事オブザーバーの安全保障地帯における平和維持部隊への導入を提案。一方、同委員会沿ドニエストル代表は、平和維持部隊の構成を根本的に変更するとして同提案を拒否。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。

(了)